

第40回 全国吟詠コンクール京都府大会



新1年生 ^{ひらく}高橋拓来くん
幼年の部 優勝！！

4月4日、コロナ対策のため発声練習もなし、マイクもなしという条件下で表記大会が開催されました。

その中で幼年の部で、高橋拓来くんが初出場で優勝、近畿地区大会出場も決定しました。

他の部門でも、6名が入賞されました。優勝の喜びの声と、入賞者の皆さまをお知らせします。

優勝・入賞のみなさん、おめでとうございます！！

拓来くんの喜びの声

『はじめてのコンクールでゆうしょうできて、とてもうれしかったです。おじいちゃんにいっぱいおしえてもらって、ママとまいにちおけいこしました。また、ごほうびがもらえるようにがんばります！』

指導者で祖父の高橋先生から

『親子共々、短期間でよく頑張ってくれました。最高のプレゼントです。ありがとう。これからも、しっかりお稽古して、ご褒美がもらえるよう頑張ってください。楽しみにしています。』

入賞者の皆さん

- ①幼年の部： 4位 都竹莉乃
 - ②一般二部： 3位 米山裕子（近畿地区大会出場）
 - ③一般三部： 橋本孝司、森田秀雄、曾根高美倭子、田中俊二郎（以上 敬称略）
- （西本章）



令和3年度 新入会員紹介(4)

安部成輝君 小学3年です。
住所：京都市右京区西院寿町
入会：R3年4月
秀正会詩吟クラブ

詩吟を始めた理由

お兄ちゃんと空手を習っていたのですが、先生が厳しすぎて自分には向かないと思ったそうです。そこで、もう少しやさしい先生はいないか探していたところ、中国語を習っている教材に中国の漢詩「春暁や春夜」などが出てくるので、たまたま家の前の看板に掲載されている漢詩「春夜」を見て、詩吟の先生はどんな先生か見たくなったそうです。1か月通ってみて、この先生なら続けられると思われたみたいです。（高橋賀秀正）

9/11 実施予定の

《総本部 吟士権大会》の出場者決定！

3月28日の選考会にて、長岡京吟詠会の代表者を決定しました。大会でのご活躍を楽しみにしています。

- 第一部：森川洋子 第二部：山室昭夫
- 第三部：米山賀秀琳、市丸賀秀知
- 第五部：森田秀雄（以上 敬称略）

4月の月例研修会 実施。参加者13名

4月11日 コロナ感染に対して厳重な防止対策を取り、月例研修会を実施。13名が研修吟に参加されました。幼年の高橋拓来君が、新しい漢詩に挑戦され、ここでも拍手喝采でした。将来が楽しみです。続いて、横山先生に和歌朗詠の基本を学びました。

景心流 佐々木先生による特別研修会

昨年度計画されながらコロナで中止になった特別研修会が、ほぼ同じ内容で今年度実施予定です。

7月11日（日）12：40、産文ホール集合です。

講師は、景心流 少壮吟士 佐々木秀景先生です。

久しぶりの佐々木先生による研修会、奮ってご参加ください。申し込み締め切りは、5月12日（水）です。

*少壮吟士については次頁参照

緊急事態宣言発出に伴う予定変更

1、会場施設休止による変更

- ① 5月2日（日）の府連大会は、9月5日（日）に延期。
- ② 5月9日（日）の公サ連まつりは、中止。

2、上記①府連大会延期に伴い、予定日の5月30日（日）に別の大会が設定されたため、5月の月例研修会は中止。

長岡京吟詠会内 昇級・昇格と異動

昇級者、昇格者

- 初級：都竹莉乃、市川富美子
- 初伝：大西梅野、神戸邦治、高橋拓来、宮小路康文
- 中伝：土江三佐子、名倉猛夫、西迫宗文
- 奥伝：後藤洋子、前原久子
- 師範代：三輪貞子（以上 敬称略）

異動関係

- 移籍：辛嶋賀秀感 翠峰会⇒長天（詩吟クラブ）
- 指導者変更（邦山詩吟クラブ）：横山賀秀邦⇒市丸賀秀知
- 師範会新規入会：市丸賀秀知（以上 敬称略）

訃報

小椋英夫さん（賀秀燦、燦峰詩吟クラブ）が、3月30日に、ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

R3/5月・6月の予定



光明寺青もみじ
観音石像から

緊急事態宣言発出に伴い、以下の赤字の3件が、変更になりました。

長岡京吟詠会 (師範会は6月から月2回開催)

- 5月9日(日) 公サ連まつり 【中止】
- 5月12日(水) 17:30 企画会議 公民館講座室
- 5月12日(水) 19:00 師範会 公民館講座室
- 5月26日(水) 18:30 執行部会 公民館学習1
- 5月30日(日) 月例研修会 【中止】
- 6月2日(水) 14:00 師範会 公民館講座室
- 6月16日(水) 14:00 師範会 公民館講座室
- 6月23日(水) 14:00 執行部会 公民館学習室

総本部

5月19日(水) 宗家杯審査員研修会 飾磨図書館

府連・府総連

- 5月2日(日) 府連吟士権大会 【9月5日(日)に延期】
- 5月23日(日) 剣詩舞コンクール京都大会 右京ふれあいセンタ
- 6月13日(日) 府連2部(指導者)吟士権大会 ラポール京都

少壮吟士について

(公)財団法人「日本吟剣詩舞振興会」(以下振興会)では、吟詠の芸術的向上を図り、吟剣詩舞道界の将来を担う人材を育成するために少壮吟士制度を設けています。

少壮吟士は、その資格を得るためのハイレベルな吟詠力に加えて、常にその頂点に相応しい品位と自己研鑽が求められた一握りの方々です。

少壮吟士になるには、以下の条件を満たす必要があります。

- * 全国少壮吟詠家審査コンクールの全国大会に3回入賞
- * 振興会が行う少壮吟士候補特別研修会を受けること
- * 年齢が35~55歳であること

少壮吟士になると、振興会による少壮吟士特別研修会に参加し、研鑽を積むこととなります。また、振興会が関わるテレビ・ラジオへの出演や、振興会の主催行事に出演する機会が与えられます。

全国少壮吟詠家審査コンクールとは

全国の少壮吟詠家の日ごろの研鑽を競うとともに、優れた少壮吟詠家を選出するために開催しているコンクールです。コンクールは都府県大会(第1次予選)、地区大会(第2次予選)、全国大会(決勝大会)の形式で行われます。参加するには、当振興会加盟の各団体・流・会所属の吟詠家で吟歴7年以上、指導歴3年以上で、35~55歳かつ会長以上の責任者の推薦を受けることが条件です。

(高橋賀秀正)

武蔵は次の様にも説いています。「常の身を兵法の身とし、兵法の身を常の身とする事肝要なり」と。即ち「普段の生活でゴロゴロしたり、だらだらせずいつも正しい姿勢でいることが大切である」と。なかなか大変なことだけど、「吟」のため心がけて努力しましょうか。

吟詠の祭典 第30回記念 吟士権者決定大会

吟道賀堂流

令和3年9月11日(土)9時30分~

姫路市文化センター 大ホール



お気軽にご来場ください!!

入場
無料

見に来てね~

主な内容

- ・部門別競吟
- ・幼少年・高齢者吟
- ・会員大合吟
- ・企画構成吟

悠悠閑閑 室津の残照
令和を迎えて 古の改元を想う
源平の戦い 奢れる平家 壇ノ浦追慕

主催 吟道賀堂流総本部
後援 姫路市・姫路市教育委員会
公益財団法人姫路市文化国際交流財団

お問合せ 吟道賀堂流総本部 事務局 ☎ 079-298-5107

公益財団法人姫路市文化国際交流財団事務局

投稿

シリーズ
「吟道と剣道」その17

長尾賀秀剣

【平常身】(正しい姿勢・自然体)

「ぎんまい長岡京」で少壮吟士0Bによる「吟詠上達法」が連載されています。第3回~第5回では、良い発声を生み出すための「正しい姿勢」について重点的に書かれています。宮本武蔵は平常身(自然体)を次のように説いています。「顔はうつむかず、あおむかず、傾けず、ゆがめず、目をキョトキョトさせず、額にはしわを寄せず、眉間にはしわを寄せて目の玉を動かさないようにし、瞬かないような思いで少し目を細め、麗やかにゆったりとして見える顔つきで、鼻筋を真っ直ぐにし、少し下あごを出す気持ちが良い」、「首は後ろの筋をスッと伸ばし、うなじに力を入れ、肩から下全身は同じと考え、両肩を下げ、背筋を正しく立て、尻を出さず、膝から足先まで力を入れ、腰を屈めず腹を出す」と。これは、吟道での「正しい姿勢」とほぼ同じではないでしょうか。そしてこれは普段の生活で良い姿勢と言われていることそのものではないでしょうか。(左下に続く)

『ぎんまい長岡京』編集室
長尾賀秀剣 西本 章 山本賀秀雲

※連絡先 長尾賀秀剣

Tel: 090-9095-3751

Email: knaqa69@gmail.com

